

じぶんに戻れる居場所

# 脱・日常

川根本町

---

Wellness & Art Village 構想





W e l l n e s s

& A r t v i l l a g e

V i s i o n

川根本町はWellness & Art Villageの実現を通して

病める現代人のストレスを和らげていきます。

# あつ、 空気が美味しい。

静岡市内から国道362号を北に向かう。曲がりくねった急勾配の山道を進むに連れ、眼下には山の連なりが、まるで十二単のように美しいグラデーションを描き始める。走ることで40分、静岡市から川根本町に入る。途中、橋の上で車を止め、深呼吸。

あつ、空気が変わった。それは、衝撃的な感覚だった。こんなにも空気の味も香りも違うものなのか。もうかれこれ8年以上前のことであり、それから川根本町と関わるようになる。この地で思考をすると、不思議なくらい湧いてくるアイデアが違う。様々なプロジェクトを通して多くの人々や自然、歴史資源に触れるうちに私はある確信を抱くようになった。川根本町は、もともと人々の心身を癒すチカラを持っている。自然のチカラ、人のチカラがあり、そこにArtのチカラが加わった時、ここは、日常のストレスから解放され、本来のじぶんを取り戻す格好の場所になることだろう。Wellness & Art Village構想実現に向かい川根本町は動き始めました。この冊子には、昔からある資源、今ある宝物、磨けば光る原石、未来に輝く贈物が描かれています。皆さんと一緒に。日本を代表する「じぶんに選れる居場所」を創りあげていきましょう。

# すごくない!? お達者度 No.1 元気、元気。 川根本町の地力

P14 - 27

- 神秘的なまでに滋味。 • 山の恵み • 地の恵み
- 森の恵み • 天の恵み • 地球の恵み

## 川根本町に 魅せられた人々

P28 - 43

- 神東美希さん • エコティかわねとは? • エコティかわねの活動あれこれ
- 古林鉄平さん・路子さんご夫妻 • 小泉成行さん
- 大窪成子さん • 横山慎一郎さん・明日香さんご夫妻
- 猪又克哉さん・恭子さんご夫妻 • 前田佳則さん

## Artって何だ? 心の栄養素です。

P44 - 53

- 話したいベンチ • 日本一?短いトンネル • 歴史が息づいている。 • 光と風の戯れ。
- ひねくれ者 • 美しく、可笑しい。 • 神と交わる。
- 生きているうちに、お寺deアート

P6 - 13

## 自然というArtistは、 実に気まぐれだ。

P54 - 65

- 空が、広い。 • 脳が喜んでいる。 • 耳に楽しい。 • 目に優しい。
- 心象風景 • 皮膚感覚 • 土の匂い。 • お疲れさま。 • 宇宙とつながる。
- 生きているArtの宝庫

## 全国でも注目されている! 小さな町の 小さな文化会館の挑戦。

P66 - 71

P72 - 81

## Re-Design

- 川根の森で癒し体験。
- ドイツ式健康ウォーキングの里に。
- 町民アーティスト計画が進行中らしい。
- PPK24も誕生するかも。
- 温泉巡り手形発行か?
- グルメライドでGo!

## 未来を デザインする。

P82 - 91

- プロジェクト1
- プロジェクト2
- プロジェクト3
- プロジェクト4

P92 - 95

## 川根本町 ウェルネスARTビレッジ構想

• 平成26年  
静岡県公表川根本町お達者度  
(男性県内1位・女性2位)

すごくない!? お達者度

No.1

• おじいちゃんも(お達者度県内1位) • おばあちゃんも(お達者度県内2位)

元気、元気。

# とにかく笑う そして1日 10杯以上 川根茶を。



川根本町のおじいちゃん、おばあちゃん達はとにかく元気です。お達者度No.1って  
凄くない?!今では、メディアにも数多く取り上げられ、全国の市町村から川根本町  
のご長寿の秘訣をリサーチしにやってくるほど。でも、きっとそれはなかなか真似ので  
きるものではないはず。お茶に地の野菜に、キレイな空気と美味しい水。

何よりも、川根本町の魅力に裏付けされた古からの暮らしがあり、よく笑い、よく動くか  
らなんです。林業、茶業をはじめとした自然の恵みによって営まれてきた山の暮らし、  
川の暮らし。その暮らしを大切に、自然に感謝しながら生きてきた川根本町の人々だか  
らこそそのご長寿の秘訣があるんです。お茶は1日に10杯以上。ほんとは何杯か数えら  
れないくらいたくさんお茶を飲みます。94歳のおじいちゃんは、夜7時に寝て、朝6時  
に起床。暗くなったら寝て、明るくなったら起きる。昼間は、仲間とおしゃべりしたり、農  
作業したり、お散歩したり。自然のままに無理なく暮らしています。96歳のおばあちゃん  
はお肉が大好き。お肉大好きなお達者さんのまあいこと。そして、お肉と一緒に食  
べるのは、血液サラサラにしてくれるらつきょう。らつきょうを庭で育て、自分で漬ける。  
昔ながらの暮らしの知恵が息づいています。毎月1回の「ふれあい・いきいきサロン」  
では、みんなに会うのを楽しみに集まり、ケラケラといい笑顔でよく笑います。  
まあいほんによく笑う。「川根の衆は人がいいからねえ。」  
誰もが口を揃えて、満面の笑み。生涯健康でイキイキと  
暮らせる場所。川根本町はずごい!

# お達者さんの秘密に迫る 川根本町流健康長寿 ここがすごいよ。

1



起きたら、遠くの山を見る。

美しい山々を眺めて目のレンズをリラックス。  
目の老化を予防します。

2

畑仕事や散歩で  
お日様の光を  
浴びる。

お日様の光を浴びて  
ビタミンDを作り、  
骨そしょう症を予防。  
お茶のみ休憩しながら。



3

みんなの集まる場所には、  
お茶とみかん。

おしゃべりしながら脳の血液がグーンと巡ります。  
みかんでビタミンCもたっぷり。



4

良い水で  
美味しいお茶を  
たくさん飲む。

お茶のカテキンパワーで  
血管年齢を若く!蛇口をひねれば、  
南アルプスからの天然水。



5

夕方にとちょっと運動。

ご当地体操「ちよっくら体操」を。  
ウォーキング30分も効果的。



ピン



ピン

コロリ

日本の中でも「健康寿命」が長い静岡県。  
さらに、その静岡県の中でも「お達者度」(65歳から、  
元気で自立して暮らせる期間から算出)が  
高いことで知られているのが川根本町です。



川根本町は、交通の便が悪いため、足腰が強くなり、人のつながりがあるからこそ町ぐるみで健康づくりができる町。心身共に健康で生きがいのある生活を送り、地域の人たちと交流できる場「ふれあいいきいきサロン」が川根本町には30サロンあります。家にこもりがちな高齢者の皆さんが集まっておしゃべりをしたり、歌を歌ったり、ゲームなどの簡単なレクリエーションをしたり。健康長寿の秘訣のひとつとして、コスプレだってします。笑顔は万病に効く薬。笑顔こそが元気の源です。







川根

KAWANE HONCHO

本町の

地方

## 神秘的な までに滋味。

山間で育った川根茶は、実に味わい深く、香り高い。上質な渋みと自然の甘みの絶妙なハーモニーはまさに神秘的でさえある。その美味しさには、確かな理由がある。寒暖の差が激しく、大井川水系によって立ちこめる朝霧がじっくりと熟成を深め、養分をたっぷりと蓄える。金色透明その薄めの色からは想像も出来ないほどの馥郁たる香りが漂い、口に含んだ瞬間、複雑で豊かなうまみの世界が広がる。至福を味わいたくなったら、川根茶を一服。



An aerial photograph of a lush green valley. A river flows through the center, bordered by dense green forests. A bridge spans the river, and a train is crossing it. In the background, a road bridge is visible. The scene is captured from a high angle, showing the winding path of the river and the surrounding terrain.

# 山の恵み

富士山に次ぐ日本第二位の高峰、北岳も有する南アルプス連峰。世界も着目する固有種の動植物が今も営みを続け、太古からまるで時が止まったかのように。大陸が隆起した山々は地球の養分をたっぷりと含み、空から落ちる雨水を恵みの水に浄化させている。美しく、キレのあるさわやかな水。その自然からの恩恵を受け、生かされている私たち。清涼感とともに、豊かな心持ちにしてくれるのは南アルプスの水があるからだろう。

# 森の恵み

ありのままの自然が残る南アルプスの野山を自由に駆け回るシカやイノシシ。そして、川には山女魚、鮎も。森の恵みに感謝し、いのちをいただき、食すことの幸せ。山の暮らしの貴重なたぐはく源であり、ここに先人たちの知恵が継承されています。



# 地の恵み

大地からの産物は地の宝。蕎麦、山芋、白菜、  
椎茸、唐辛子、川根ゆずに、柿に栗。この土地  
で産まれるものと共に生きる暮らしを愉しむ。  
そのもの本来の美味しさを味わえるのは、この  
土地ならではの贅沢です。

# 天の 恵み

澄んだ星空全国2位<sup>\*</sup>。日本有数の美しい  
星空を持つ町、川根本町。手に取るよう  
に見える銀河に、壮大な宇宙のロマンを  
感じ、幻想的に輝く星の世界に魅了さ  
れる。その澄みきった空気を胸いっぱい  
に吸い込み、身体が浄化される感覚を  
味わう。心までキレイにしてくれるようだ。

\*平成18年度環境省主催



# 地球の恵み

地熱によって温められた水が、深層土の違いで、それぞれの効能を持ち、極上の温泉となって湧き出る。美女づくりの湯、寸又峡温泉。若返りの秘泉、接岨峡温泉。健康増進の湯、白沢温泉。癒しの湯、千頭温泉。なんという贅沢だろう。



## エコティかわねの立役者

### 川根本町に 魅せられた人

かんとろ

神東 美希さん

愛媛県出身の神東さんが緑のふるさと協力隊として川根本町にやってきたのは2011年春のこと。2012年からエコツーリズムネットワーク事務局に携わり、川根本町のファンを増やす、交流人口を増やすために様々なエコツーリズムを企画運営していた。事務局での4年間を終える頃には、すっかり地元の人々との繋がりも深まり、改めて自分自身がこの町のために何かできることがあるのではないかと考えた神東さん。それまで川根本町の自然資源を活用した体験プログラムという切り口に囚われがちだったものを、地域活性のために幅を広げ、2016年4月に「一般社団法人エコティかわね」としてさらなる地域活性を目指して移行。その立役者として、ここ川根本町に残り、現在もエコティかわねの活動にはなくてはならない存在として様々な地元のプロジェクトに関わっている。

# 川根本町に 魅せられた 人々

あるキツカケから川根本町に関わり、  
その魅力を積極的に発信している人々。

この地の持つ磁力に引き寄せられるように移住し、  
人生を謳歌している人々が増え始めています。

移住者、Uターン移住者からみた

川根本町の持つ魅力ってなんだろう。



# 川根本町に 魅せられた人

こぼやし  
古林 鉄平さん  
路子さん  
ご夫妻



山の小さな喫茶店でたくさんの笑顔。東京から6年前に移住してきた古林ご夫妻。4人の男の子の父でもある古林さんはシステムエンジニアとして働きながら、山登りが好きで、よくこの川根エリアを訪れていた。いつかは山の近くに移住をと考え、これまで行った山梨や長野もいいが、訪れる度に川根の人の良さに触れ、ここにしようと思ったのだとか。30代後半で家族を連れて、料理は好きだが、特に経験もないままカフェ「pincer'ble」(パンセブレ)をオープン。山岳ガイドとして働いたり、山のガイドブックを執筆したりしながら、今の暮らしを愉んでいる。

今では上の息子さん2人も山登りを楽しみ、もはや上級者レベルなのだとか。林業で開拓され、今ではあまり使われなくなった山道を見つけ、昔の人々の知恵と努力の歴史を感じさせてくれる山道を次世代に遺すことも一つの役目という古林さん。これからはたくさんの人に川根の山歩きを愉んでもらうために、このカフェが拠点となり、山のロマンを伝え続けてくれるだろう。



**エコティかわねとは？** 2008年、川根本町の有志で設立された「川根本町エコツーリズムネットワーク」が前身となり、2016年にその事業の継続、さらにエコツーリズムという観光目線だけではなく、農業や林業、商工業なども連携し、様々なジャンルで地域活性化を目指すために生まれたのが「一般社団法人エコティかわね」です。四季を通じて、山や川、里、癒し、暮らしの知恵などをテーマに、様々な体験プログラムを企画実施。現在では町民、移住者、町外スタッフなど約60名が会員となり、自然と人、人と人をつなぐ活動をしています。これからも様々なつながりを広げ、川根本町の人々と共にまちづくりの一翼を担っていきます。



# 大自然に囲まれて 非日常の カヤック体験

初心者  
向け

大自然に囲まれて非日常のカヤック体験(初心者向け)。カヌー・カヤックの町として知られる川根本町。春には木々の芽吹きを間近で湖面から、夏には青空と風を感じながら、秋には紅葉と静寂に包まれた川根時間を満喫。四季折々の体験を。

- 実施時期 4～11月
- 所要時間 約2時間
- 場所 奥大井接岨湖カヌー競技場
- 人数 4～16名(3歳以上)
- 料金 お一人4,860円(税込)～



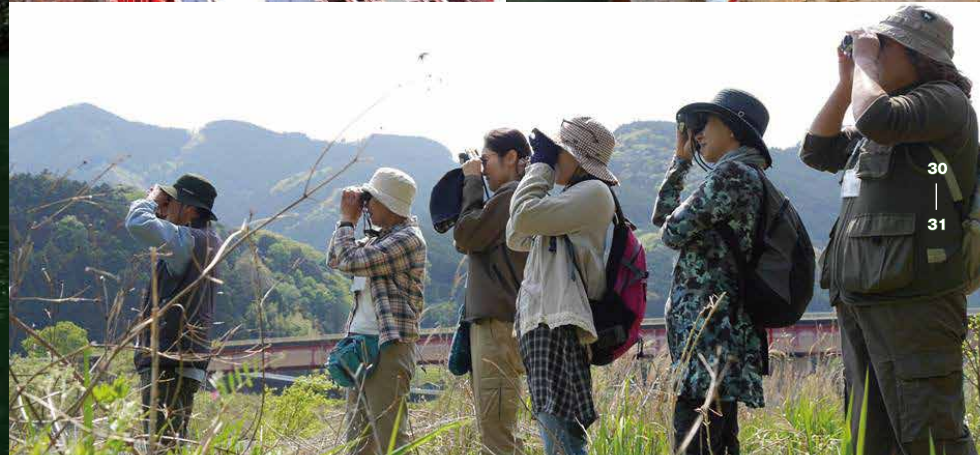
エコティかわねの  
活動あれこれ

## その他のプログラム

YASHI 森と温泉と食で癒しのツアー(1泊2日)

カヤックツーリング、自然満喫トレッキング、南アルプスあぶラインと接岨峡散策、季節の草木染体験、バードウォッチング入門、ドライフラワーアート体験&自家製小麦でケーキ作りなど

・詳しくは 一般社団法人エコティかわね <http://kawanehon-eco.com/>



川根本町に  
魅せられた人

大窪 成子さん

# あの テーマパークを 超える。

元々「くのわき」出身の大窪さんが地元の両親の今後を考え、週の約半分をこの地で過ごすようになったのは、2年ほど前。18才でこの地を離れたが、年老いた両親に寄り添いながら、ここでいかに人生を楽しみ、周りの人も笑顔にできるかを考え「緑カフェ」というカタチでスタートした。川根茶の美味しさを引き出す最適な温度で煎茶を体験して

もらうためのワークショップスタイルの緑カフェ。景観、人、お茶の3つのコラボレーションをくのわきの魅力として観光で活性化し、お茶の後継者を育てるべく、さまざまな縁を結んでいる大窪さん。集落独自の個性を大事にしながら、川根本町全体の活性化のために、自らも川根の暮らしを愉しんでいる。



## 川根本町に 魅せられた人

猪又 克弥さん  
恭子さん  
ご夫妻

兵庫から脱サラして移住してきた猪又さんご夫妻。ご主人が初めて川根本町を訪れたのは、小学生の時。大井川鐵道のSLを見に来たという。その後、大学時代からアウトドアが大好きでキャンプで千頭を訪れ、それから毎年20年近くもの間、この地を訪れていた。来れば来るほど、この町の自然と人の良さに魅了されたというご主人は、以前からの夢だった宿屋を始めるため、土地を探し、2018年に崎平にキャンプ場を、地名に民宿をオープンした。人生の転機にさまざまな良きタイミングが重なり、夢を実現した猪又さん。これから、農家民宿としての夢も広がる。それは20年前、猪又さんが川根本町と出逢った時のように、ここと出逢う人に素敵な思い出を紡ぐため。



# 脱サラして

## 川根本町に 魅せられた人

### 小泉 成行さん

オリエンテーリングの日本代表として各地でのレースや世界選手権にも参加している小泉さん。

2012年、結婚を機に千葉県から川根本町に引っ越してきました。大学生時代を静岡で過ごした奥様は、木々に囲まれた自然環境、暖炉のある暮らしに憧れ、川根本町に何度も訪れていました。そんな奥様に連れられて来たと仰る小泉さんですが、もともと自然が好きで、地図を読むのが好き。むしろ、小泉さんの方が最初からこの地にフィットしていたのかもしれない。

今ではオリエンテーリングを主体とし、ナビゲーションスポーツのコース開発や読図用のコース作りなどで川根本町を拠点としながら、全国で活躍しています。アウトドアスポーツの環境に恵まれた川根本町から選手を育て、いつか世界選手権でチャンピオンを作ること。小泉さん自身も地域と関わりながら、世界を目指しています。



# 川根から 世界 チャンピオンに!!

## 川根本町に 魅せられた人

横山 慎一郎さん  
明日香さん  
ご夫妻



人生をどう生きようか、森の中で生活したいと、夫婦で全国を旅しながら棲家を探し、お茶の仕事をきっかけに訪れた川根本町。ここには、人と自然が共に豊かになるような関係を楽しんでいくための“パーマカルチャー”(パーマネント(永続的な)とアグリカルチャー(農業)あるいはカルチャー(文化)を組み合わせた言葉)としてのライフスタイルを実現できる場があり、横山さんは自分達がこの場所でさらに成長できると感じたという。移住してから12年。食べられるモノを森で生産すること(フォレストガーデン)を目指し、永続的に自然と向き合う暮らしを実践し、発信もしている横山さん。奥様は、レザー作家として活躍。森と共に暮らす健康で豊かな生活を愉しみ、これからのこの地の可能性にきっと貢献してくれるに違いない。



川根本町に  
魅せられた人

前田 佳則さん



# 生めんばで

2016年に静岡市の用宗から移住してきた前田さん。静岡県指定の工芸品「井川めんば」の職人として修業を積んだ後、モノづくりと暮らしが近い場所としてここを選び、地元で溶け込みながら、その伝統を受け継いでいる。100年先、200年先にも伝統として遺すために、自分自身がきちんと生計を立て、かっこよく暮らすことで次世代に繋ぐこと。

めんば作りの原点に立ち戻って本物を目指し、川根のヒノキを原料に、漆の生産も今後模索しながらチャレンジしていきたいという。雑菌を排除し、食品を長持ちさせるための先人の知恵が詰まった井川めんばの魅力。前田さんは、モノづくりだけでなく、暮らしそのものを先人から受け継ぐ大切さも教えてくれる。



## 川根 de Aeru アート

### Artって何だ？ 心の栄養素です。

心を刺激するモノ。これは、もはやアートと呼んでしまおう。

見たり聞いたりする側が違う感覚を持つと

同じモノでも違う表情に見えたり、違う価値観を持つたりする。

子どもの頃誰もが持っていたSense of Wonderを

川根本町で取り戻そう。

子供は誰でも  
生まれながらに芸術家だ。  
問題は大人になっても  
芸術家でいられるかどうかだ。  
(パブロ・ピカソ)

木造の駅舎のベンチに腰掛け列車を待っていた。誰もいない駅なのに、目を閉じて耳をすませば、かつて降り降りした人や映画のロケで来た俳優さんの声も聞こえてきそうだった。このベンチは、何十年もの間、ここにおいて、あなたが座り、話し掛けるのを待っているのかもしれない。

田野口駅

話したい  
ベンチ。





# 歴史が息づいている。

温泉宿の並ぶ坂道の途中に広がる小さな広場、その先には何とも可愛らしい木造の建物が建っている。森林開発の活気や温泉地としての賑わいなど時代の移ろいを眺めてきた建物だ。小学校としての役割を終えてはや半世紀。

そこには、もう、子ども達の元気な声は聞こえてこないが今でも公民館として地域の人に利用されている。季節の移り変わりを眺めながら、しっかりと時を刻んでいるのである。中に入ると、ふーっと、懐かしさがこみ上げてくる。



世の中に無駄なモノはないんだよ。トンネルはつぶやく。  
日本一？ 短いトンネル

これは、トンネルと言うよりも線路の屋根である。もともとこのトンネルの上には、川根索道が通されており、そこから転落する物で鉄道の交通に支障が出ぬよう設けられたものだ。それにしても、この風貌は実に奇異である。まさに見る人の想像力に問いかけるオブジェとなっている。

写真 文科利

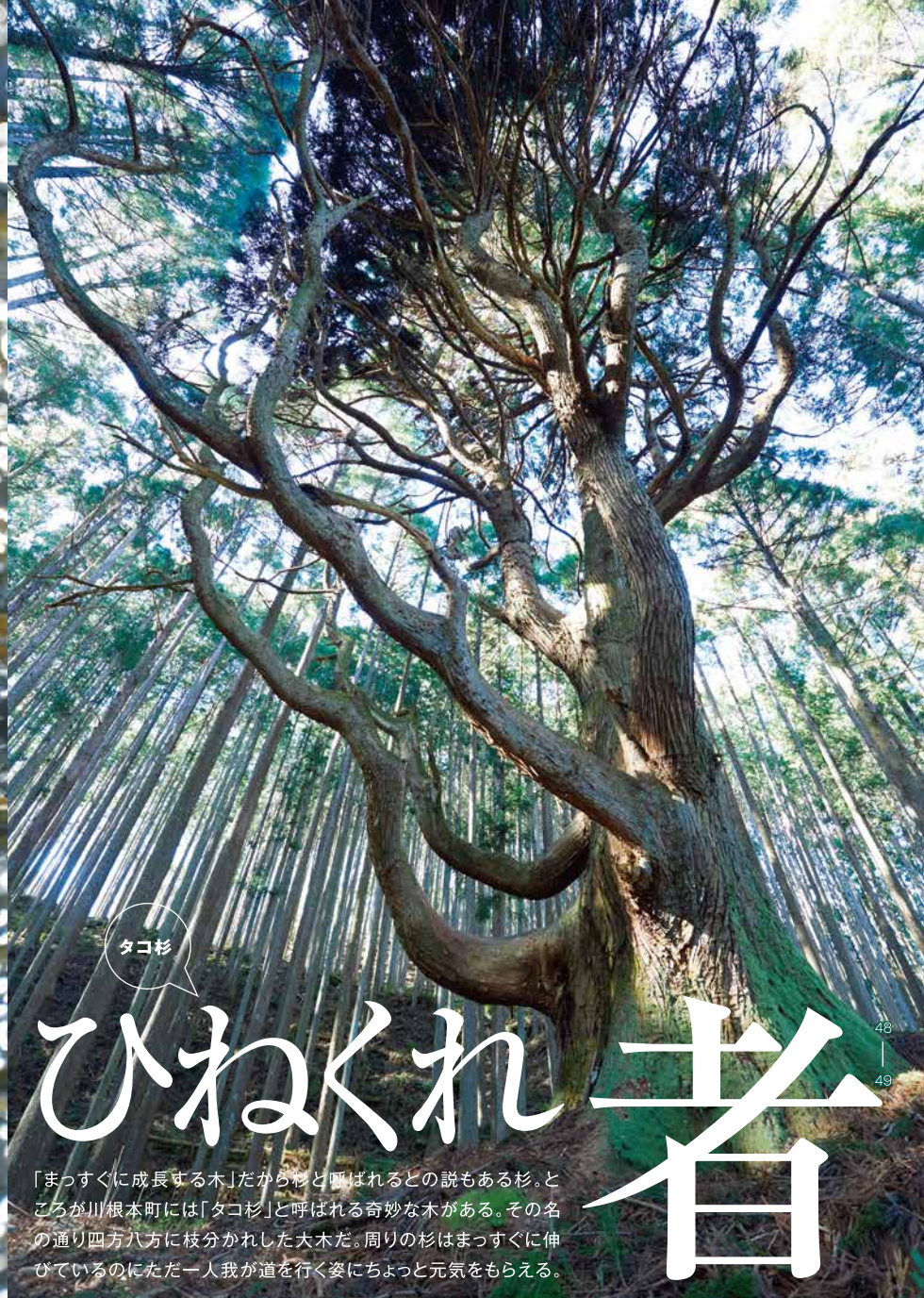


旧大間小学校(寸又峡公民館)

# 光と 風の 戯れ。

大井川

南アルプスに源を持つ大井川は、  
流れる向きを幾重にも変えながら川根本町を流れ下る。  
上空や高台から見えるその様は、自然が創り出したアート作品のようである。  
そして、せせらぎで見せる、或いは聞かせる水面の動きは、  
光と風を相手に、一瞬たりとも同じ表情を見せない。  
たまには、日常の時の流れから解放され、自然の戯れを眺めて過ごすのもいい。



タコ杉

# ひねくれ者

「まっすぐに成長する木」だから杉と呼ばれるとの説もある杉。ところが川根本町には「タコ杉」と呼ばれる奇妙な木がある。その名の通り四方八方に枝分かれした大木だ。周りの杉はまっすぐに伸びているのにただ一人我が道を行く姿にちょっと元気もらえる。

# 美しく、 可笑しい。

智者の丘

この丘から見渡す千頭の景色は一見の価値がある。僕は、家々に明かりが点り出す黄昏時が好きだが、夜の帳が落ち始める頃も実に美しい(P62)。それよりも、ここには実に不思議なモノが置かれている。音の出る玩具のようなモノ、そして何よりも好きなのが顔はめのようなアート作品である(P76)。

# 生きているうちに。

上長尾地区にある「千葉山・智満寺」。草創をたどれば平安時代に遡る名刹であるが、ここはプチ美術館と呼んでも良いほど、素晴らしい天井画やユニークな木彫りの作品が溢れている。かつてお寺ではあの世(極楽浄土)のことが語られていたとも聞く。日常と離れて思いを巡らす体験＝アートであるとすれば、まさにお寺はアートな場所である。

# お寺 de

# アート

# 神と



徳山神楽、田代神楽、梅津神楽、鹿ん舞。川根本町には、木々や清流、自然に神が宿っていた遥か昔の祈りの姿が、親から子へ、子から孫へ継承され、今もお色鮮やかに息づいている。太鼓・横笛・拍子木など囃子に合わせ、神々や動物を模した舞は、私たちに悠久の自然や宇宙を感じさせる。そして、今、赤石太鼓という新しい郷土芸能が、川根本町の雄大な自然に鳴り響いている。遥か昔から今、そして未来へ、脈々と続く身体表現が、ここにはある。

# 交わる。



1



2



3



4



5

## 徳山神楽 1

10月初旬に徳山神社にて開催。江戸時代前期に定着し、舞は巫女による優雅な「四座の舞」、刀を手に勇壮な「剣の舞」、恵比須や大黒などの面をつけた「面の舞」など。

## 田代神楽 2

3年に1度9月に田代大井神社にて開催。文治5年(1189年)に村を開いた成近の兄弟により奉納したと伝えられている。舞は、三人の舞い手が駒頭を持ち、右の手綱の鈴を鳴らし跳躍する「駒の舞」など三演目。

## 梅津神楽 3

1月に接叺峡温泉会館にて開催。梅津神楽の由来は1480年頃、この地に村を開いた筑地氏により奉納されたと伝えられている。舞は、小弓を持つ三人舞「八幡の舞」、左手に大幣束、右手に鈴を持った一人舞「幣の舞」など。

## 徳山の盆踊 4

8月15日に徳山浅間神社にて開催。歌舞伎踊りの初期の仕組みを伝承する盆踊で、頭につくり物の鹿の頭を付け、囃子に合わせて大股で鹿が飛ぶように舞う鹿ん舞をはじめ、ヒール踊り、狂言が行われる。

## 赤石太鼓 5

昭和56年(1981年)に日本太鼓連盟副会長であった小口大八氏を師匠として、町おこしのために始まった郷土芸能。平成10年(1998年)に県立川根高等学校に郷土芸能部が設立され、地元の若者の打ち手も増えている。

# 自然という Artistは 実に 気まくれだ。

私たちの想像と概念、価値観を簡単に裏切る。その壮大でかつ繊細な感覚には残念ながら、私たちは遠く及ばない。時に、例えようもなく美しく、私たちの心を魅了したかと思えばあまりの厳しさに、私たちは後退りせざるを得ない。だからこそ、私は、この地を何度も訪れ、この厄介なArtistを相手に、心のマッサージをしているのだ。

空が、  
広い。

都会で見る空とは明らかに違う。その澄んだ青。宇宙を感じる広がり。人間の小ささを改めて感じさせてくれる。





# 脳が

水辺にはマイナスイオンが流れ私たちの気持ちを静めてくれる。  
せせらぎをずっと眺めていると不思議な感覚に襲われる。  
まるで、自分が森の精になったような。

# 喜んで



# 耳に楽しい

自然は実に多くの音に溢れている。鳴り止むことなどないのだ。  
私たちが、じっと耳さえすませば聞こえるはずなのに。  
私たちの心が騒々し過ぎるのだ。

# 目に優しい。

緑は確かに目に優しく、  
人の心を穏やかにしてくれる。  
じっと見つめていると自然と心はリラックスし平静を取り戻す。  
そういえば、小学校の黒板も緑だったな。  
川根本町には様々な緑が溢れている。  
木々や植物、初々しい息吹を感じさせてくれる茶畑の緑。  
そして苔の緑は不思議な潤いを疲れた心に与えてくれる。

# 心象風景

自然が織りなす色のコラージュは、  
どんな絵画作品よりも私たちの心は無邪気にさせ、  
その感動を心象風景としていつまでも残してくれる。  
奥大井の渓谷を走る日本唯一のアプト式電車\*  
「南アルプスあぶとライン」。  
時間はゆったりと流れ、次々に自然というアート作品が現れる。

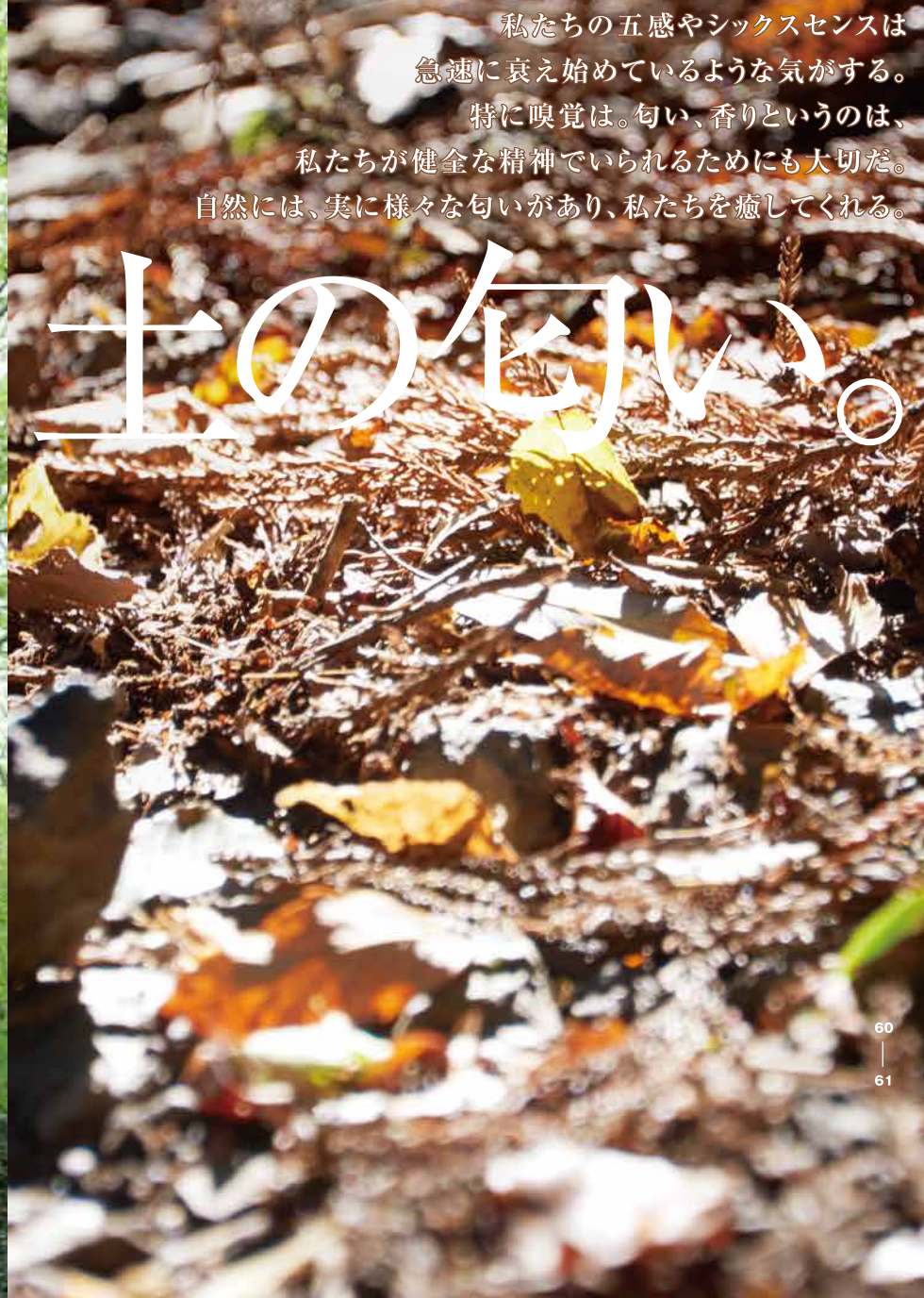
\*アプト式電車(急勾配を上るための鉄道システム(フック鉄道)の一種)





# 皮膚感覚

僕にはまだ風の動きは見えない。  
見ることが出来る人達がいると聞いたことがある。  
でも、皮膚で感じることはできる。  
生きていく上で、この皮膚感覚というものが大切に思えてきた。  
デジタルの世界では感じるできない感覚。  
自然というアートは、それを教えてくれる。



私たちの五感やシックスセンスは  
急速に衰え始めているような気がする。  
特に嗅覚は。匂い、香りというのは、  
私たちが健全な精神でいられるためにも大切だ。  
自然には、実に様々な匂いがあり、私たちが癒してくれる。

# 土の匂い。



# 宇宙と つながる。

見えるはずなのに、見えない。

いや、見ようとしていないことが日常の中で実に多い。

人に対しても同じかもしれない。

私たちは、1日のうちでどの位空を見上げているのだろうか？

晴れた夜、車を路肩に停めライトを消し、

色メガネを外し宇宙をじっと見つめる。

次第に無数の星たちが、姿をあらわす。

全国で、2番目に星空が美しい町。

# お疲れさま。

刻々と移り変わる色模様。

オレンジ色の世界で行われる太陽と雲の戯れは、

いつまで見ている飽きることはない。

やがて帳が降り徐々に紫の世界に変わっていく。

その様は、まるで「お疲れさま」と、

私たちに優しい言葉をかけているようだ。

# 生きている

# Artの

3,000m級の山々が連なる南アルプスにより育まれた自然環境は、生き物の宝庫だ。ベニヒカゲ、ミヤマシロチョウなど珍しい蝶をはじめ、クワガタ、カブトムシなどの日本の甲虫類の約1割が川根本町に生息している。虫たちの持つ精巧な造形や複雑な色彩の美しさは、まさしくArtと言えるだろう。豊かな山々を探索し、生きたArtと出会うSense of Wonderの旅に出かけよう。そこには、不思議な感動が溢れている。

# 宝庫

写真・山下 健



資料館やまびこ

生きたArtとの出会いは、自然の中だけではない。資料館やまびこには、昆虫類、シダ類、きのこ類、魚類等の標本約1万7千点が展示されている。かつて川根本町に生息していた生物や、今も生きる

生物達が織りなす豊かな生態系がアーカイブされている。美しい生物達が歩んできた歴史に触れ、その神秘に想いを馳せる思考の旅に出かけよう。



# 全国でも注目されている！ 小さな町の小さな文化会館の大きな挑戦。

Artには、人々に価値や多様性を再考させるチカラがある。Artには、人々の心を癒すエナジーがある。Artには、人々を引き寄せる磁力がある。川根本町文化会館は、長期的社会成果として「芸術文化を通じた町の豊穡化」を掲げ、それを達成するために10の短中期的社会評価基準を設定し、どこにもない文化的コモンズを目指しています。

- 1 新しい魅力・文化の創造
- 2 地域資源・文化の発掘と磨き上げ
- 3 豊かな次世代育成
- 4 交流人口の増加
- 5 シビックプライド<sup>※</sup>の醸成
- 6 アートの可能性理解
- 7 アーティストの育成と作品制作
- 8 アートフェスの定期開催
- 9 アートを活用した産業化
- 10 移住・滞留人口の増加

※町に対する誇りや愛情

自主制作率88.5%。  
ここでしか見られない！  
がコンセプト。

教育機関でのアウトリーチ受講人数延べ675名

名

26.7%

お客様の26.7%が町外から。遠くは、帯広からも。

%

町民の  
舞台出演人数  
延べ133名

名

伝統芸能に関わる町民の舞台出演人数延べ42名 数値は全て平成26~28年度の実績数値

名

ここでしか見られないパフォーマンスアート作品が続々と登場!

# この町には、 人を元気にさせる 不思議なパワーが 溢れている!

過去7年間に約100名のアーティストが川根本町文化会館を訪れ、

オリジナル作品を公演しました。

ほとんどの方が宿泊し、自然、食、温泉、人など町の魅力に触れました。

ここに掲載されているのはアーティストから寄せられた熱いメッセージの一部です。

桃源郷のような、原初的なパワーを感じる。ホンモノはいつもざりげなく存在して、誰もが知らず知らず元気になる場所。そして今後、更に愉しくなるなんて?! 今から心踊ります♪ (Arico)

夕暮れの山のざわめき、もやがかった川が運ぶ異世界の匂い、  
獵師は祈りを込めて引き金をひき、生命に響く太鼓の一音…。

川根本町の景色は私にとって妄想の宝庫です。

3作品に渡る赤石太鼓の皆様との創作、

どの瞬間も他では体験できない素晴らしいものでした。

川根本町と私の時間はまだまだ始まったばかりです!(田村一行(大駱駝艦))

ひょっこり木の精が現れそうな深い山並み、まるで壮大な絵のような河原と鉄橋、  
もちろんおいしい山の幸にお茶、お酒、そして空気。SLは懐かしい時代に心を  
運んでくれ、まさに町自体がワンダーランド!(サンキュー手塚)

川根本町は、一度行くと忘れられない。豊かな自然と懐かしい趣のある町。  
おしゃれて品のあるところというのが私の印象です。催しの多い文化的町!(ちゅうサン)

私たちは遠くの山に向かって発声練習をしていた。  
太陽のあたたかさや澄んだ空気に私たちの声だけが響いている。  
突然、山の方から可愛いこたまが帰って来た。  
近くの園児たちが面白がって真似をしているのだ。(KIO 中立公平)

心の底から晴れやかになる日差し。明るさと奥行きが共存する風光。  
濁りや曇りと無縁の子どもたち。川根は、いつもそんな宝物を抱えている。  
(セレノグラフィカ)

温泉が良い!景色が良い!お茶が美味しい!山間を機関車が走る姿は、  
まるで夢みたいですよ。大都会からちょっと行ったところに、こんな場所があるなんて。  
この仕事をやってなかったら、知らず仕舞いだったかも。得しました!(加納真実)

その子はまだお芝居の世界から日常に戻ってきてない感じだった。  
むき出しの無垢が奇跡的に全く汚されず純粋な状態のままそこにあるようなその子の瞳。  
"こんなキラキラした無垢な瞳で舞台を覗いてくれたんだ!  
"その時の女の子の瞳が今でも僕の励みになっている。(SPAC 三島景太)

景色もきれい、地元の観客の皆様も温かい…「また行きたいっ!」と心から思える、  
魅力たっぷりの川根本町が大好きです!(SPAC 宮城嶋遙加)

小学生向けの公演を4回手がけましたが、農家の子たちは、  
恥ずかしがり屋で素直で可愛らしくて、温泉の子たちは、物怖じせず社交的で朗らかで、  
どちらもすごくステキな子たち。私にとっての川根本町は、  
とてもとてもとても豊かな場所です。(SPAC 大岡淳)

吊り橋の長さや高さにびっくり!吊り橋の真ん中から見える絶景にうっとり!  
温泉でお肌もっちり!何よりあったかい川根の人たちと触れ合って心ほっこり!  
心にもカラダにもいいことどっさり!日本の美が詰まった川根でアートを堪能する、  
こんな極上の幸せ、貴方にぴったり!(toRmansion)



超ヌルヌルの温泉につかれる寸又峡温泉に、見上げれば満点の星空。

SLの汽笛の音が木霊する。...

そんな五感を刺激できる魅力溢れる場所でした。(くるくるシルクDX)



市街からちょっと走ったら、もう美しい自然とお茶畑。

その山合いに、こんないい劇場があるなんて、なんていい環境。お客様もアットホーム。

身近に生の表現を楽しむ場所があって、それを糧に、  
皆さん長生きして下さったら嬉しいです。(シルヴブレ)

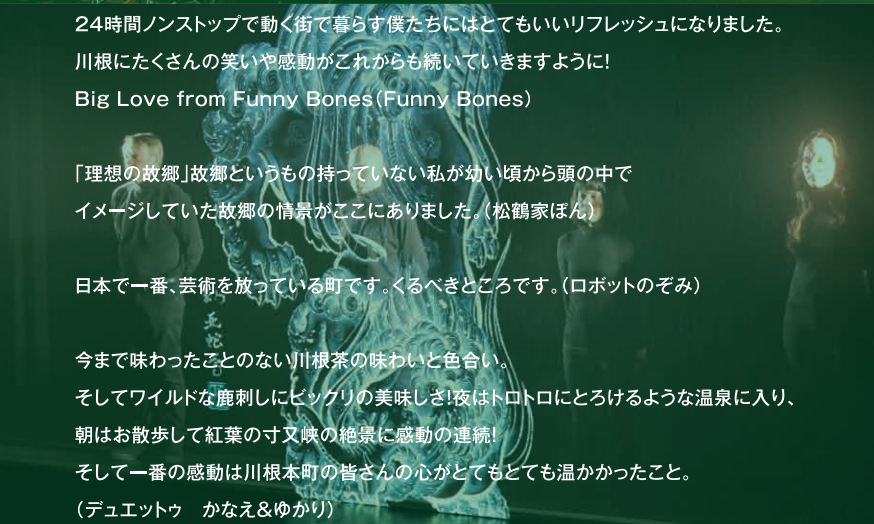
夜になると街灯がほとんどない街は深い闇と静寂に包まれ、

獣の足音が聞こえるような気がしました。

24時間ノンストップで動く街で暮らす僕たちにはとてもいいフレッシュになりました。

川根にたくさんの笑いや感動がこれからも続いていきますように!

Big Love from Funny Bones (Funny Bones)



「理想の故郷」故郷というものを持っていない私が幼い頃から頭の中で

イメージしていた故郷の情景がここにありました。(松鶴家ほん)

日本で一番、芸術を放っている町です。くるべきところですよ。(ロボットのぞみ)

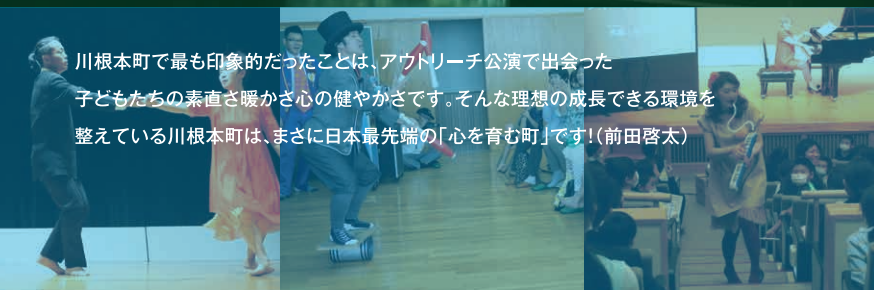
今まで味わったことのない川根茶の味わいと色合い。

そしてワイルドな鹿刺しにピツグリの美味しさ!夜はトトロにとろけるような温泉に入り、

朝はお散歩して紅葉の寸又峡の絶景に感動の連続!

そして一番の感動は川根本町の皆さんの心がとてもとても温かかったこと。

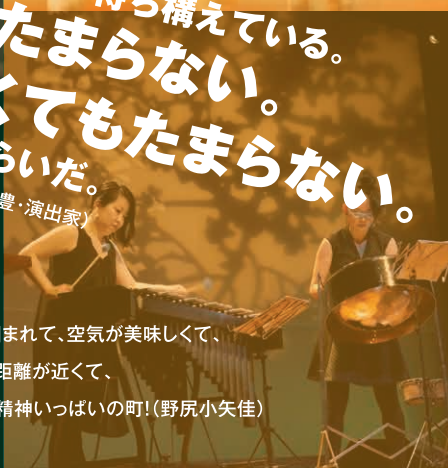
(デュエットウ かなえ&ゆかり)



川根本町で最も印象的だったことは、アウトリーチ公演で出会った  
子どもたちの素直さ暖かさ心の健やかさです。そんな理想の成長できる環境を  
整えている川根本町は、まさに日本最先端の「心を育む町」です!(前田啓太)



川根本町経験者は、口を揃えてこう言うだろう。  
「あの街のホスピタリティは、  
群を抜いている」。  
自然溢れる景観、街並み、鉄道、吊り橋、温泉、人々。  
硬券を握りしめ、  
果てしもない鉄道の先に桃源郷が待ち構えている。  
アーティストにはたまらない。  
アーティストでなくてもたまらない。  
ほんと、秘密にしておきたいくらいだ。  
(田上豊・演出家)



異空間に迷い込んだかのように感じるくらい、自然に囲まれて、空気が美味しくて、  
ゆっくりとした時間が流れる町。ちょっとシャイだけど、距離が近くて、  
笑顔が素敵な人たちに出逢える町。そして、チャレンジ精神いっぱい町!(野尻小矢佳)

静岡の大きな大会が終わった後に公演させていただいた川根本町でしたが、  
とても穏やかで、綺麗な風景が広がる土地で公演ができて最高でした。

楽しんで見てくれている子どもたちの姿が印象深く、拍手のタイミングも最高で、  
これまで数々のショーを見ているんだなぁと感じました。(張海輪)

素晴らしい体験ができる町。人とコミュニケーションできる町。

様々なところにダンスのワークショップに伺って、多くの方と出会いましたが、  
気さくで暖かい方ばかりでした。

しかも身体表現について意識が高い方も多数で感激!温泉はもちろん、  
豊かな自然、吊り橋やトロッコ列車など、大満足できる川根本町。

(ANTIBODIES Collective 東野祥子)

# Re- design

今ある資源を磨く

## 磨けば光る原石

最初の一年は徹底的に、川根本町のマイナス面、プラス面を調査・分析。  
何を活かせば、何をRe-designすれば、何をプロデュースすれば、川根本町が  
Wellness & Art Villageに変わるのか。  
町外から集まったサポーター達の熱意と真剣なアイデア会議、  
町内の人々の実現に向けた意欲。この一年で、多くの事業化へのアイデアが出ました。  
これらを、これから精査して、具体化していきたいと思っています。

皆様のご意見をお寄せ下さい。詳しくは [www.sd-lab.org](http://www.sd-lab.org)

森林を活かす。

# 川根の森で 癒し体験。

森にはストレスを軽減するマイナスイオンや、除菌、リラックス効果の高い樹木の持つ物質フィトンチッドなどが豊富にあり、木や草花、鳥、そよかぜ、せせらぎなど、五感に訴える癒しの素材が溢れています。日常のストレスの多い現代社会から、少し離れた非日常に身を置き、心を開放することで、自分自身をリセットする。地元をよく知る森のチカラを最大限に活かす案内人がアテンド。自然に身を委ねて心身の健康を得られる体験を。あなたも、グリーンシャワーロードや智者の丘コースを歩いてみませんか?1時間程度のリフレッシュ・ウォーキングです。



### 森の案内人

滝浪 利枝さん

一般社団法人エコティかわねのメンバーでもあり、  
寸又峡「求夢荘」の女将でもある。

# ドイツ式健康 ウォーキングの里に。

## 今注目のクアオルトとは？

クアオルト(Kurort)とは、ドイツ語で「療養地・健康保養地」を指す言葉。ドイツでは心臓リハビリや高血圧の治療などの健康改善プログラムとして活用されています。ジビエ、山菜、森林、温泉…。豊かな自然に囲まれた川根本町には、クアオルトに必要な要素が備わっています。

## 川根本町でクアオルト・ウォーキング体験

自然の野山の傾斜や冷気、風を活用したクアオルト・ウォーキングを寸又峡にあるウォーキングコース「グリーンシャワーロード」で体験。クアオルト・ウォーキングで最も大事なことは、心拍数の計測。出発前や道中で心拍数を計り、自分にとって最適な心拍数を保つこと。

一生懸命歩く必要はありません。豊かな自然を肌で感じながら、のんびりリラックス。山道の適度な高低差が運動効果を高めます。楽しみながら、健康改善。不思議なことに、ウォーキング終了後は血圧が安定し、心地よい感覚に。快適に、頑張らずに、運動効果を上げるクアオルトコースの開発が川根本町では検討されています。



# 町民

# アーティスト化 計画が進行中

# らしい。

世界トップレベルのパフォーミングアートを体験できる文化施設「川根本町文化会館」。アウトリーチ・ワークショップを通じて、町民の皆さん達のアートへの関心が高まっています。旧小学校を、木材をふんだんに使ったアーティストインレジデンスに改修したら、アートヴィレッジの拠点にもできそうです。町全体がステージ。町のみんながアーティスト。町民の皆さん達から劇団やダンスチームが生まれる日も近いかもしれません。



P(ピン)P(ピン)K(コロリ)の秘訣を世界に発信

# PPK48も 誕生するかも。

川根本町には、亡くなる直前まで元気に生活するピンピンコロリ(PPK)なお達者さんがいっぱい。コスプレを楽しんでいる地区もあります。24時間元気いっぱい。健康長寿を世に広める65歳オーバーの新しいアイドルグループが誕生するかもしれません。





## 美女づくりの湯、 寸又峡温泉。

泉質 硫化水素系・単純硫黄泉

効能 神経痛、筋肉痛、関節痛、五十肩、  
運動麻痺、関節のこわばり、うちみ、  
くじき、慢性消化器病、痔疾、冷え性、  
病後回復期、疲労回復、健康増進、  
慢性皮膚病、慢性婦人病、さきさず、  
糖尿病

個人的な4つの温泉。  
全てを巡る温泉手形で健康成就も叶いそう。  
温泉で健康を学ぶ温泉大学があってもいいし、  
各界の有識者を集めて温泉サミットも開催できるのでは。  
異なる効能を持つからこそその温泉巡礼。  
自然の景観を眺めながら  
ゆつくりウォーキングした後は、やっぱり温泉がいい。

# 温泉巡り 手形発行か？

## 健康増進の湯、 白沢温泉。

泉質 重曹泉(ナトリウム炭酸水素塩泉)

効能 神経痛、筋肉痛、関節痛、五十肩、  
運動麻痺、関節のこわばり、うちみ、  
くじき、慢性消化器病、痔疾、冷え性、  
病後回復期、疲労回復、健康増進、  
さきさず、やけど、慢性皮膚病

## 若返りの秘泉、 接叡峡温泉。

泉質 ナトリウム炭酸水素塩冷鉱泉

効能 胃腸疾患、リュウマチ、神経痛、痛風、  
火傷、皮膚病、創傷など

## 癒しの湯、 千頭温泉。

泉質 無色無臭の単純温泉  
(低張性・中性・低温泉・33.5度)

効能 神経痛、筋肉痛、関節痛、五十肩、  
運動麻痺、関節のこわばり、うちみ、  
くじき、慢性消化器病、痔疾、冷え性、  
病後回復期、疲労回復、健康増進

古民家 × 風土  
フードで  
心も体も  
健康に  
お茶よ  
大根そ  
柿大福  
わさび  
川根茶  
ダムカレー



自転車で、川根本町の食を巡る冒険に出かけよう。

# グルメライドでGo!

ただ早く走るだけではつまらない。ゆっくり、ゆっくりペダルを回しながらその土地の風の匂いや変わる風景を楽しむ。  
地元の人々と会話を交わし、その土地の食を楽しむ。  
そんなグルメライドはヨーロッパを中心に人気が高まっています。  
古民家を活用した郷土料理、デトックス料理教室、食育体験プログラムも。  
川根本町は、そんなグルメライドに最適な場所です。

私たちは、本気で。

すぐには実現しないかもしれませんが、Wellness & Art Villageには欠かせないこと。

多くの方から、実に多くの素晴らしいアイデアが出されました。

ここに、掲載しているのは、ほんの一部ですが、どれも、力を合わせれば実現可能なモノばかりです。

皆様の智慧をかしてください。

川根本町を皆さんと一緒に、日本を代表する「じぶんに選れる癒しの里」にしていきたいと思っています。

今の社会に欠かせない場所だと信じているからです。

Idea  
一覧

ダム湖の真ん中で気球やランタンを飛ばすお祭りを開催。集落ダンス対決!元気な川根本町紹介映像配信。

**無人駅をジャックして空家を使って週末起業マルシェを開催。** フリースクールの開講。全国の学校に行けない子を川根本町の自然の恵みと人の温かさに元気に。茶畑を瞑想スポットに。お茶のアロマでリラックス。お茶漬、井茶豆腐、新しい茶料理の開発

**演劇の手法を町全体がアート!** 川根本町ミュージアム。オーガニックをテーマにした野外レストラン。川根本町を日本一のジビエレストランがある町に。川根本町の各駅でデトックスプログラムを開催。

**活用し、先生がアーティストに。** 公衆トイレをアートでリノベーション。川根本町の自然でサバイバル体験

**冬のカンパ場で写真スポットをPRして星空フェスを開催。** もっとインスタ映えする空家を利用した1日町民体験。川根本町に。女子を意識した旅館・キャンプ場・店舗のリノベーション。

**使われていない林道をウェルネスのコースに。** 川根本町の自然をテーマにしたプロモスイーツの制作

**恋のバワースポット、キャンプ場を活用して川根本町を美と健康のテーマパークに。** おばあちゃん達がいるサロンにアーティストが滞在。おばあちゃんかアーティストに変身。

**河原沿いにジャズバーを設置。**

気軽に楽しめる 観光サインをRe-design。川根の子どもたちと一泊ツアー  
軒先お茶スタンドカフェの設置

新しい交通手段、トクトク、ベロタクシーの導入。ジビエ解体ショーで川根本町の食の魅力をPR  
ジビエカーによる移動レストラン

河川で、灯りと灯籠流し  
川根本町のインスタ映えスポットでフォトロゲイニング。

雨の日を楽しむメニュー・ガイドマップの制作。  
都会の女子に山菜・お茶をお届け「エア農業女子計画」

空家をアーティストのアトリエに改造。家の壁を使った壁画コンテストも開催。おしゃれな宿泊施設・飲食店を生み出す空家リノベコンテスト。  
冬のカンパ場でクラフト体験、サバイバル体験ができる

フォレストテーマパークに。はだしプロジェクト。森林の中で裸足で過ごし、心身を鍛え直す。自然と古民家を活用し、瞑想、滝行、断食道場、カウンセリング合宿を開催。

林道でモータースポーツツアー。空家をまるごとアートに。フォトジェニックポイントとしてPR。神社の敷地で神楽・太鼓・パフォーミングアーツがコラボしたイベントを開催

ドローン空撮による川根本町風景コンテスト。

間伐材をARTに活用。雑貨として販売、切り株の作品化。

82  
|  
83

美味しく、  
いただきます。  
鹿、猪。

ジビエ料理レシピコンテスト開催予定？

獣害と言われ、厄介者扱いされていますが、食材としては珍重されています。川根本町でも、鹿刺し、しし鍋ではない新しいジビエ料理の開発を考えています。新しいレシピの提案、情報提供大歓迎です。

Recipe Contest

レシピコンテスト

山女魚  
鮎

塩焼きでも  
甘露煮でもない！  
鮎、山女魚。

川魚料理レシピコンテスト開催予定？

川根本町の自然の恵みはジビエだけではありません。豊かな森林が育んだ清流には、鮎、山女魚がたくさん。塩焼き、甘露煮だけではもったいない。フランス料理、中華など、新しい視点からのレシピを求めています。

魚占

1つのエリア全体に機能を水平分散させるそんな大胆なコトが計画されているらしい。

# 滞在して自分を取り戻す。 リトリートとしての川根本町。

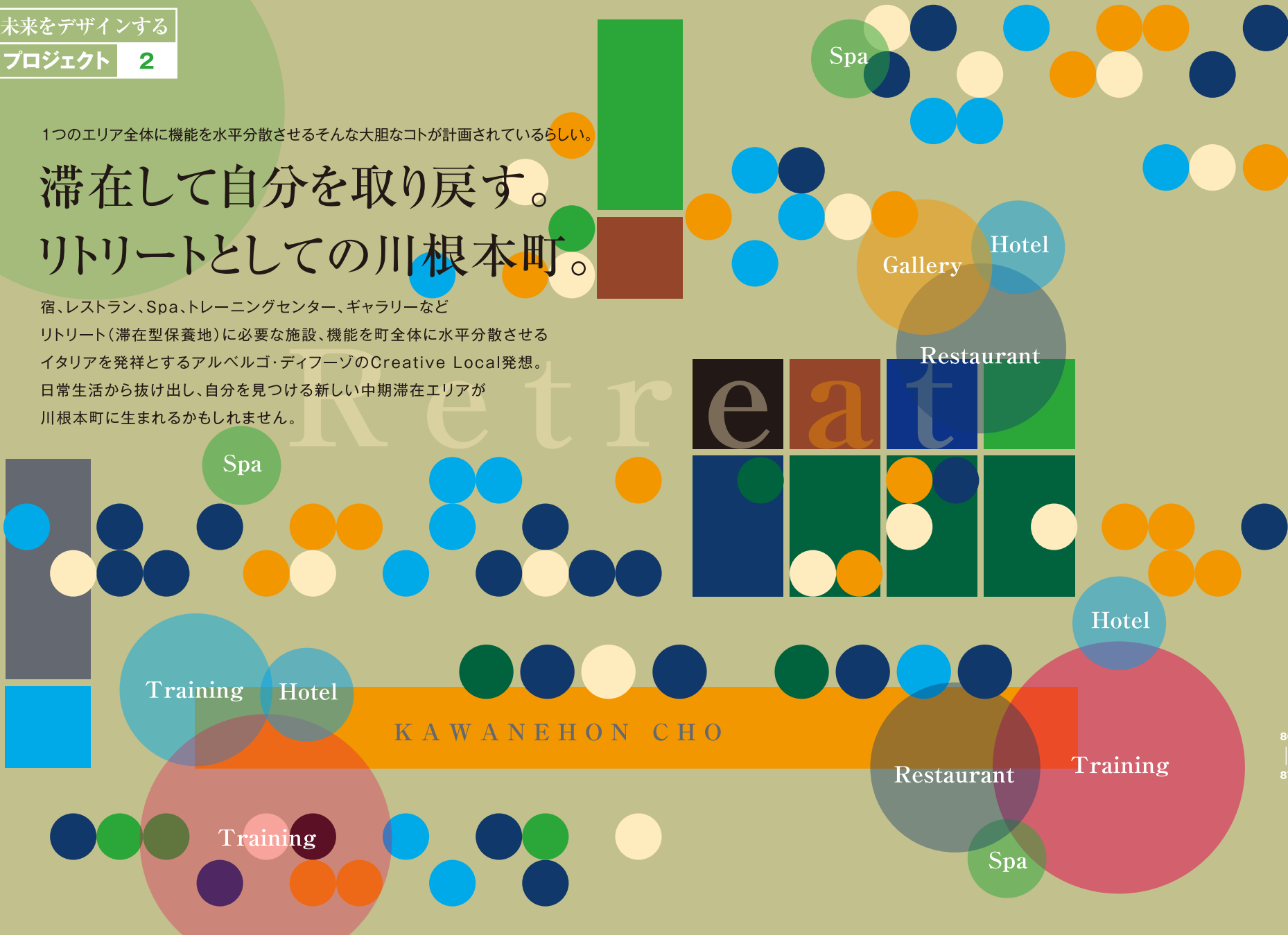
宿、レストラン、Spa、トレーニングセンター、ギャラリーなど

リトリート(滞在型保養地)に必要な施設、機能を町全体に水平分散させる

イタリアを発祥とするアルベルゴ・ディファーズのCreative Local発想。

日常生活から抜け出し、自分を見つける新しい中期滞在エリアが

川根本町に生まれるかもしれません。



# 眠っている

## 自然資源を

## Wellness productに

## 活かす。

### 休耕地をハーブ、生薬の里に

人手がなく手付かずとなってしまった遊休地が、ウェルネスの発想で有給地に生まれかわるらしい。カモミール、ラベンダー、ローズマリー、ユズ、ショウガなど和洋様々な種類のハーブが一面に広がり、耕作放棄地が日本を代表するハーブ、生薬の里に変わったら素敵ですね。

### 森の香りをアロマに

ウェルネスの発想で、川根本町の9割を占める森林から、新しい恵みが生まれるらしい。ヒノキ、スギ、クロモジなど木々の香りをエッセンシャルオイルに。ここにしかない、フォレストアロマセンターが生まれる可能性があります。

未来をデザインする

プロジェクト 4

# どこにもない Next Art Fest計画が 進んでいるらしい。

川根本町Next Art Fest

長島ダムの湖、広場が野外劇場に生まれ変わり、現代美術家による作品が、19ある駅舎やホームのベンチや森の中に点在。町内のあちこちで、様々な国のドラムの音がなり、ダンスやパフォーマンスが繰り広げられる。動×静、パフォーマンスアートと現代美術が融合したここにしかないNext Art Festが始まるかもしれません。着々と準備中です。

スタッフ&アイデア 募集中

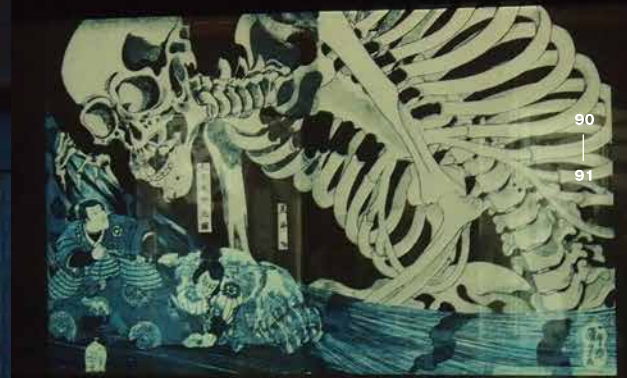
若手アーティストが川根本町から羽ばたいていく。

アーティストinレジデンス計画。着々と準備中。

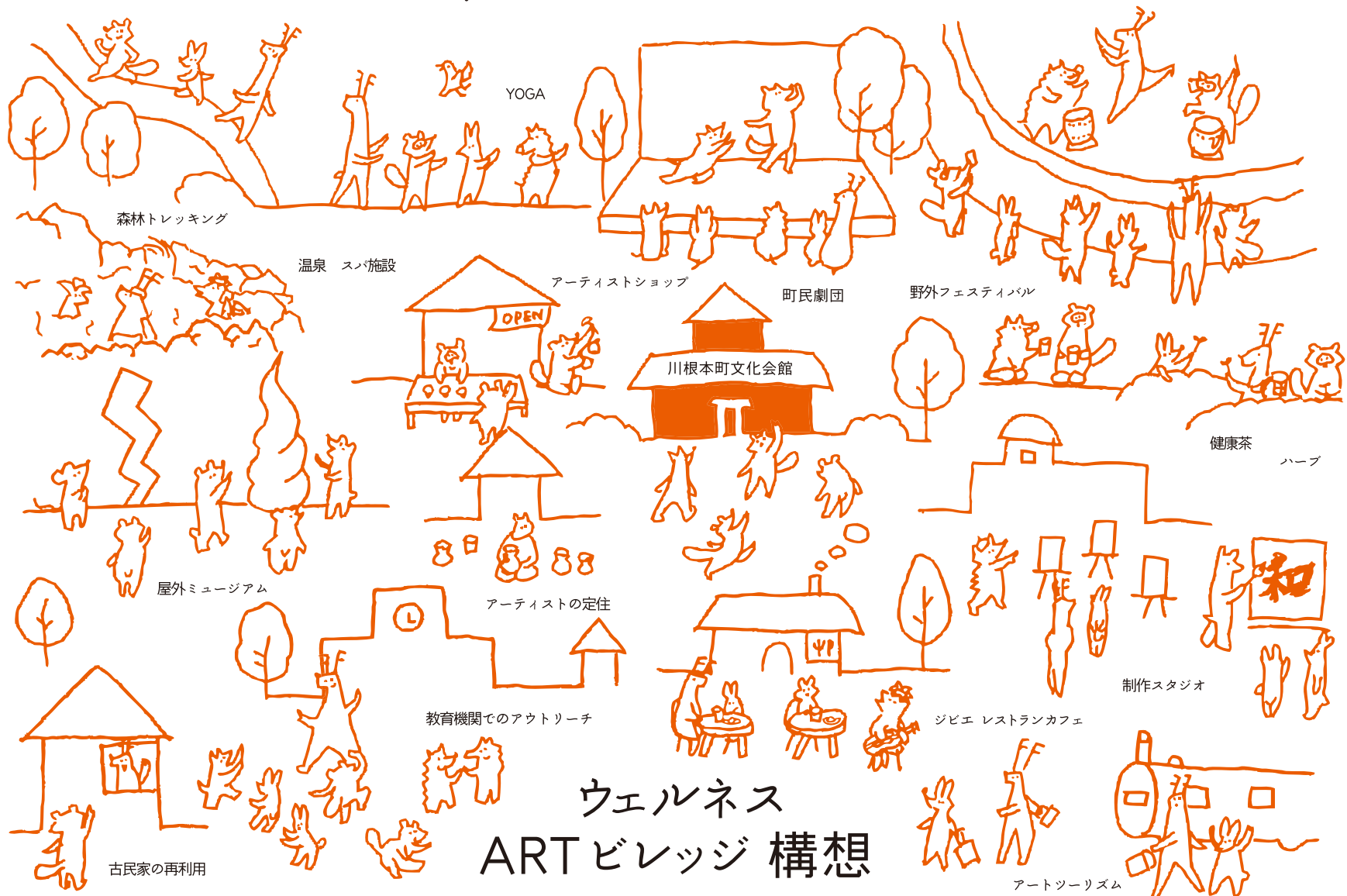
若手アーティストに川根本町に滞在してもらい、作品制作をしてもらう。そんなアーティストinレジデンス計画が進んでいるらしい。民家や会館に宿泊し、町民と触れ合い、自然のエネルギーを感じる。ここでしか作れない作品があります。作られた作品は、Art Festivalで発表され、美術作品は町に残されていきます。

川根本町では、魔法にかかったような素晴らしい時間を過ごすことができました!大変な事も多いセッティングではありましたが、スタッフとボランティアの皆様方の献身的なご協力のおかげで、忘れることの出来ない素晴らしい滞在制作、公演が実現しました。またいつか様々な魅力の溢れた川根本町で作品を創り、公演ができることを願っています。

メリディアーノ



# ARTで中山間地は変わる！



Wellnes&Art Village構想により、川根本町では、様々な人が行き交い、様々な人が移り住み、自分らしさを取り戻していきます。パフォーミングアートが長島ダムや千頭駅前で常に行われ、鉄道に乗れば、最先端の現代美術が目を楽しませる。接岨峡温泉、寸又峡温泉に行け

ば、クアオルト・リトリートで心も体も健康に。行き交う人が増え、そこに新しい産業も生まれていきます。川根本町は、今大きく変わろうとしています。その為にも、新しい知が必要です。  
• 移住や新しい働き方のお問い合わせは川根本町役場企画課(0547-56-2221)。皆様との出会いを待っています。



## 2016

平成28年度

- 11月24日 モニター女性 募集開始(womo/すろーかる)
- 12月 9日 チームウェルネス立ち上げ会議 事業趣旨説明・メンバーの紹介
- 12月14日 モニター女性 募集バッチ・選考
- 12月16日 モニター女性 当選発表
- 12月22日 クアオルト健康ウォーキング 事前調査
- 12月22日 第1回モニターツアー(北部編) **1**  
クアオルト健康ウォーキング 事前調査 **2**  
(グリーンシャワーロード・八橋小道)チームウェルネス・クアオルト講師 会議
- 12月24日 人も町も元気になる講演会vol.1 小関信行氏講演 **3**  
カードワークショップ(北部編) **4**  
「クアオルト健康ウォーキングで、ひととまちの健康」

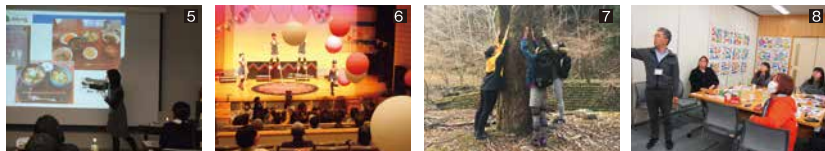


## 2017

平成28年度



- 2月 4日 第2回モニターツアー(中部編) **1**  
人も町も元気になる講演会vol.2 北川フラム氏講演 **2** 「アートによる地域おこし」
- 2月 5日 カードワークショップ(中部編)
- 2月25日 第3回モニターツアー(南部編) **3** チームウェルネス・古田菜穂子氏 交流会
- 2月26日 カードワークショップ(南部編) **4**  
人も町も元気になる講演会vol.3 古田菜穂子氏講演 **5**  
「新たな地域資源の掘り起こしとリトリート産業の可能性」
- 3月11日 ぐるぐるシルクDX「サーカス★デラックス」鑑賞 **6**  
クアオルト講師 川根本町入り・下見
- 3月12日 クアオルト健康ウォーキング体験会(グリーンシャワーロード) **7**  
カードワークショップ(川根本町がウェルネスARTビレッジとなるために必要なこと) **8**



## 2017

平成29年度

- 町内企画運営ネットワーク会議
  - 8月27日 第1回町内企画運営ネットワーク発足、平成28年度事業説明、平成29年度事業説明
  - 9月13日 第2回町内企画運営ネットワーク会議 **1** 事業説明、カードワーク
  - 10月26日 第3回町内企画運営ネットワーク会議 **2** 企画案の発表、カードワーク
  - 11月30日 第4回町内企画運営ネットワーク会議 **3** プレインライティング
- 町外モニター サポーター会議
  - 8月30日 第1回町外モニター サポーター会議 **4** 平成29年度事業説明、カードワーク
  - 10月 3日 第2回町外モニター サポーター会議 企画案の発表、カードワーク
  - 11月 9日 第3回町外モニター サポーター会議 **5** プレインライティング
  - 12月12日 第4回町外モニター サポーター会議 **6** 事業計画書の内容検討



## 2018

平成29年度

- 合同会議
  - 2月17日 第1回町内企画運営ネットワーク・町外モニターサポーター合同会議 **1**  
TeamFunniest「FUNNIEST COMEDY SHOW」鑑賞・事業計画書の内容検討
  - 3月10日 第2回町内企画運営ネットワーク・町外モニターサポーター合同会議 **2**  
事業計画書の最終チェック・川根本町文化会館「アートと遊ぼう!」参加 **3**



## ウェルネス事業に対する想い

川根本町には魅力的な資源がたくさんあると言われてきました。

しかしながら、ここに住むわたくしたちは、それが当たり前のように感じて生活してきたため、その良さや、活用の仕方、最良の情報の発信方法などが分からずに過ごしてきました。

農業、林業、観光、商工業、移住定住など、様々な部局で、様々な施策、それぞれに、地域のPRや情報発信を行う訳ですから、まとまりがある訳がありません。

そこで町は、地方創生交付金を活用し、「ウェルネス(心身の健康)」を基本としたブランド化に取り組むこととしました。

日本有数の銘茶である川根茶、本州唯一となる原生自然環境保全地域、南アルプス国立公園、ノスタルジックな雰囲気のあるSLや駅舎、日本唯一のアプト式鉄道、大井川流域の自然環境を活かしたキャンプ場、寸又峡や接岨峡などの温泉など、地域資源を紐づけていくと、ウェルネスというキーワードに辿り着いた訳です。

お茶を一服する事によるヒーリング効果や森林浴及び温泉入浴による癒し効果などに着目すると同時に、ここに住むわたくしたちの営みが形成した茶園、森林などの自然景観や、豊年満作を祈り伝承されてきた伝統芸能など、生活の知恵や技を脈々と培ってきた「わたくしたちの暮らし」に着目したのです。

これら地域資源をウェルネスというコンセプトで繋ぎ合わせ、戦略的に情報発信していくことで、どこにもないこの町を、訪れて、体験し、何度も来たいくなるような人の流れを創り出し、そして、ここに住む人が、誇りを持って住み続けられるような町を創造していきたいと考えています。

川根本町役場 企画課

• 発行

## 川根本町役場 企画課

〒428-0313 榛原郡川根本町上長尾627 TEL.0547-56-2221

<http://www.town.kawanehon.shizuoka.jp/>

• 制作

- ・アートディレクター 甲賀 雅章
- ・デザイナー 黒住 政雄
- ・エディター 永松 典子
- ・コピーライター 甲賀 雅章、深野 裕士、伊藤 允彦、永松 典子
- ・カメラマン 星野 裕司
- ・イラスト 前田 ミネオ
- ・写真提供 大井川鐵道(株)南アルプスアプトセンター
- ・制作協力 大窪成子、鈴木かほり、滝浪利枝、望月礼子(川根本町まちづくり観光協会)
- ・企画サポータースタッフ 小泉 さやか、杉崎 タ子、高橋 沙和、高橋 知子、滝浪 永梨、富士井 彩乃
- ・平成28年度事業モニター 瀧美 沙紀、上杉 知世、鈴木 貴子、山田 俊美

2018.3 初版第一刷発行

